

## 授業科目

## 公衆衛生看護活動論I

担当教員名 杉本 洋、宇田 優子	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	◎	○

## 授業の概要

本科目では、公衆衛生看護の理念や基礎的理解を踏まえた上で、対象別の公衆衛生看護活動について講義する。具体的には、それぞれのライフステージ別（母子、成人、高齢者）、健康課題別（精神、難病、感染症など）の保健活動の対象、目的、方法について、それぞれの歴史の変遷や法的基盤、活動の実例を踏まえながら講義する。公衆衛生看護活動の理解を深めるために、現代的な身近なトピックに随時触れ、学生からの質問等に随時答えながら授業を進めていく。

## 授業の目的

ライフステージ（母子、成人、高齢者）、健康課題別（難病、感染症、歯科保健など）の保健活動の対象、目的、方法の理解を深め、現代求められている公衆衛生看護活動について考察できる。

## 学習目標

1. ライフステージ別の保健活動の対象、目的、方法について理解する。
2. 健康課題別の保健活動の対象、目的、方法について理解する。
3. 公衆衛生看護上重視される課題とその対策について考察することができる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	授業概要説明、および母子保健について（対象）：授業の概要説明および公衆衛生看護の理念や公衆衛生看護提供体制についての確認を行う。そして、母子保健活動の対象となる人々の特性を学ぶ。	講義	杉本 洋
2	母子保健活動について（目的、方法）	講義	杉本 洋
3	成人保健活動について	講義	杉本 洋
4	高齢者保健活動について	講義	杉本 洋
5	障害者（児）保健活動について	講義	杉本 洋
6	感染症・難病保健活動について	講義	宇田 優子
7	精神保健活動について他	講義・個人ワーク	杉本 洋
8	まとめ	講義	杉本 洋

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	公衆衛生看護学 各論1 第2版 2017年版	宮崎美砂子、北山美津子、春山早苗 他	日本看護協会出版会	2017年	4,968円	
参考書						
その他の資料						

## 評価方法

期末試験 80%程度、課題等20%程度にて評価する。

## 履修上の留意点

既習科目で用いた教科書等利用する可能性もある（別途指示する）。  
適宜、授業内容についての考察等の簡単な記述式課題を課す。

## オフィスアワー・連絡先

水曜日11から13時  
Email: sugimoto@nuhw.ac.jp